会長 | 担当理事 | 会計

（健Ⅱ298F）
令和３年９月１日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事　殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜　萢　　敏

季節性インフルエンザワクチンの供給に関する情報提供について

本日、令和３年９月１日に開催された厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会）において、今冬の季節性インフルエンザワクチンの供給についての検討がなされました。正式な通知は厚生労働省より追ってなされますが、予め情報提供いたします。

今冬の季節性インフルエンザワクチンの供給予定量は、令和３年８月時点で約2,567万本から約2,792万本（１mLを１本に換算）の見込みであり、昨シーズンより減る見通しです。特に接種開始の10月供給量が少なく、供給時期が12月２週目まで続くことから、例年と比較して後ろにずれる見込みです。（別紙１、２参照）

上記のことを踏まえ、医療機関におかれましては、自医療機関へのワクチン供給量の確認および接種予約の取り方にはご留意いただきますようお願い申し上げます。

また、新型コロナウイルスワクチン接種を進めていただいているところですが、現時点では新型コロナウイルスワクチンは他のワクチンと前後２週間の接種間隔をとることとされていることにもご留意ください。今後、接種間隔が変更される可能性もあります。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会および関係医療機関等に対する情報提供について、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

受付 3.9.-6 675 号

2021/22シーズンのインフルエンザワクチンの供給量の見込み

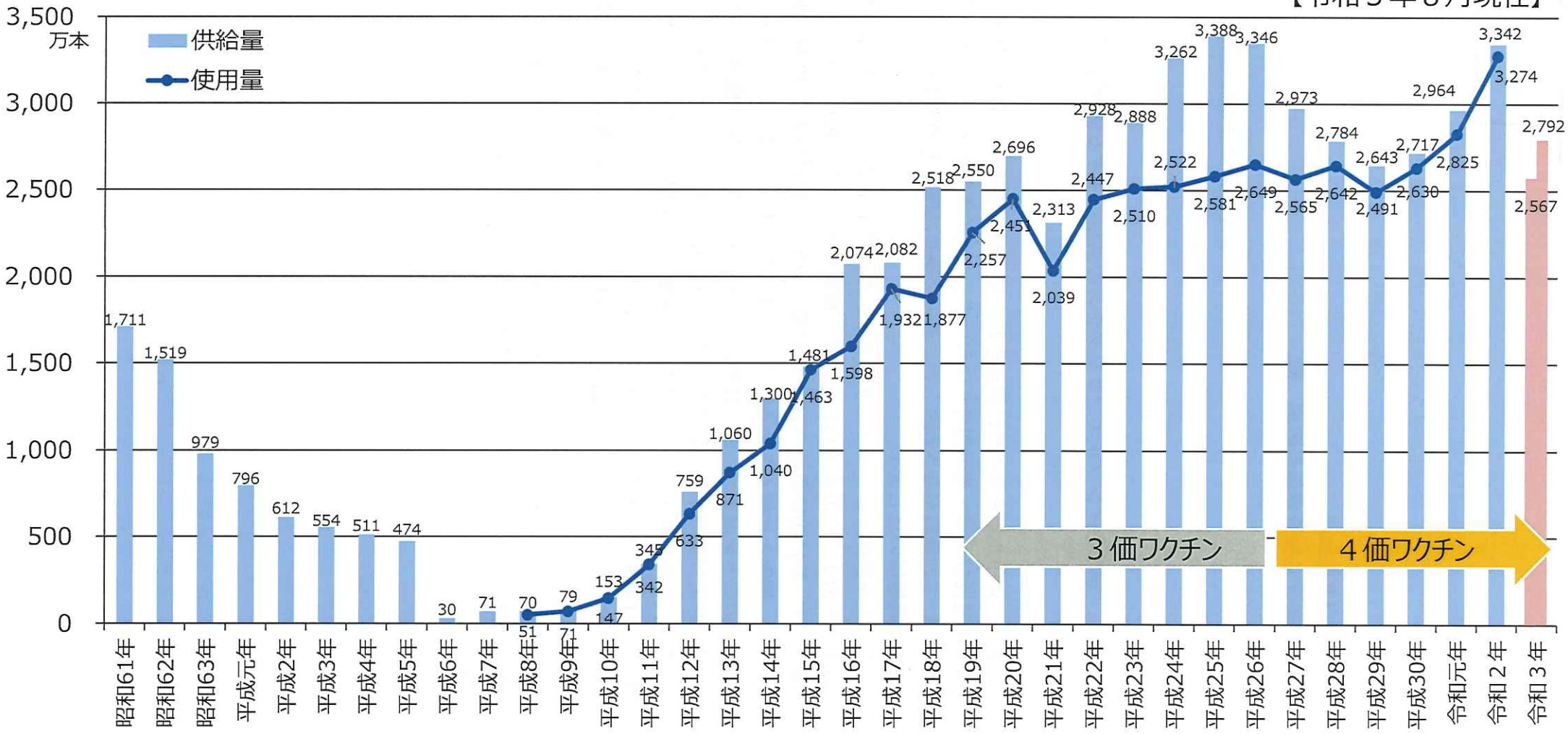
別紙１

2021/9/1第26回厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会）資料

○　今年度のインフルエンザワクチンは、製造効率等が特に良かった昨年度とは異なり、例年と同程度の製造効率等である。

○　平成８年以降で最大となった昨年の使用量と比較すると少ないが、例年の使用量に相当する程度は供給される見込み。

【令和３年８月現在】

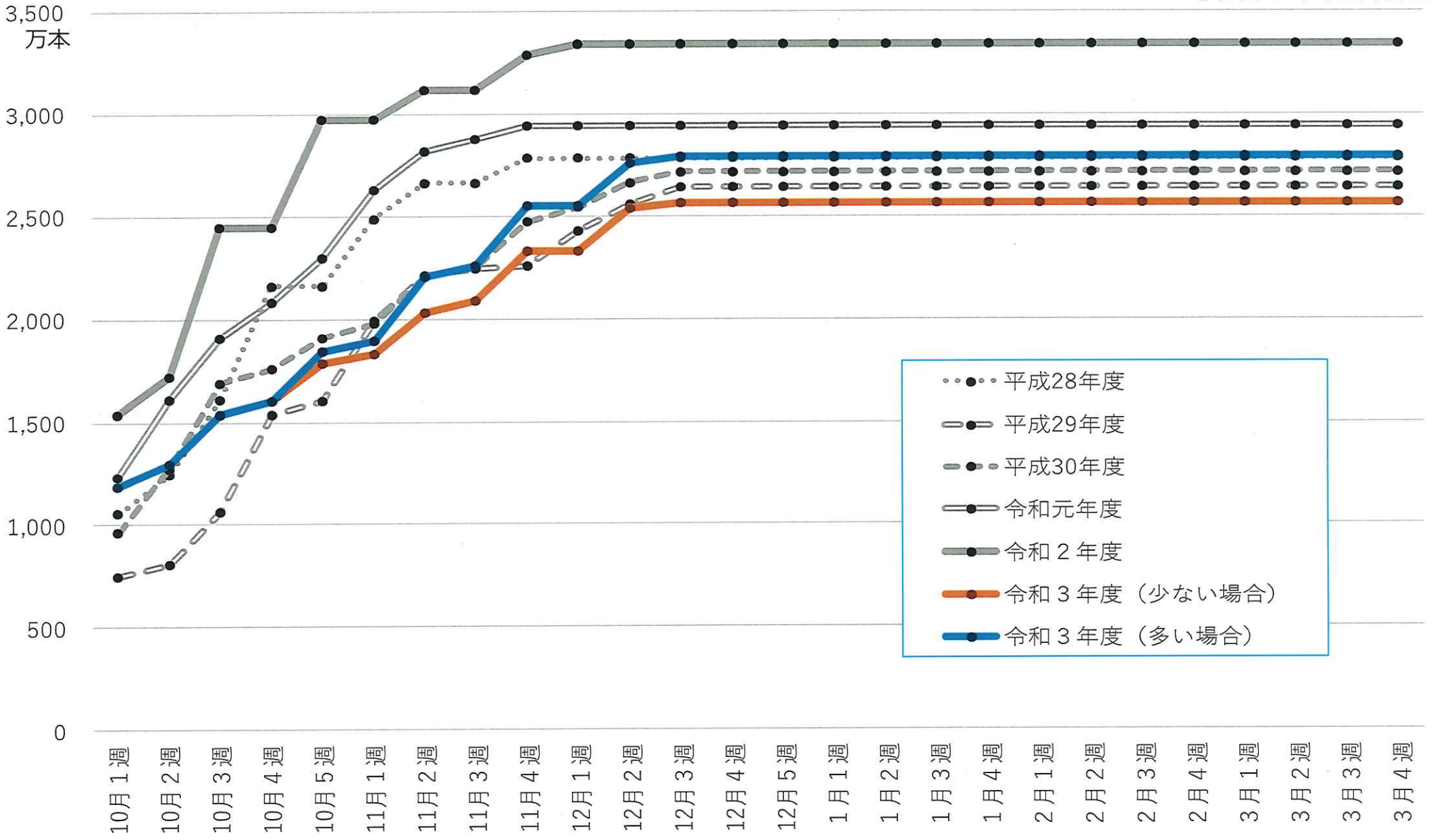


※１　平成７年以前の使用量は不明　　※２　１mL換算

2021/22シーズンにおけるインフルエンザワクチンの供給（週次） 別紙２

2021/9/1第26回厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会）資料

【令和３年８月現在】



注１） 供給量は、いずれも1mL換算。　　注２） 週の表示は金曜日を基準としている。

注３） 令和３年８月現在でワクチン製造は完了していないため、製造効率の変動等に一定の仮定を置いて供給量及び供給時期を算出。